

令和8年度 公開講座（短期課程）

コース No.	1 - 06		
コース名	人の役割を変える DX 時代の現場カイゼン実践セミナー (5) 産業用ロボット活用・自動化機器の安全設計～まかないの自動化の実現～		
担当科名	機械システム系メカトロニクス科	講 師	山口俊憲 (産業用ロボット特別教育インストラクター)
実施日時	① 令和8年11月11日(水)	18:00～21:00	
	② 令和8年11月18日(水)	18:00～21:00	
	③ 令和8年11月25日(水)	18:00～21:00	
	④ 令和8年12月2日(水)	18:00～21:00	
	⑤ 令和8年12月9日(水)	18:00～21:00	
	⑥ 令和8年12月16日(水)	18:00～21:00 (計18時間)	
募集定員	6人(最大10名程度)(最少実施人数2人)		
募 集 対 象	対象職種：不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)		
	受講に必要なレベル：不問(受講生の状況・希望に応じて 基礎から実施)		
目 標	生産現場での活用が期待される DX ツールの概略を知る。		
講 座 内 容	人口減少する変化・変動社会では、省人化だけでなく、人の役割の変革が求められています。すなわち、今持つスキルとは異なるスキルを追加し続けることが求められています。また、生産現場では ICT (情報通信技術)・IoT などのデジタル化 (DX: デジタルトランスフォーメーション) やロボットの活用が言われています。近年、これらを容易に導入できる機器が多数開発されており、新たな獲得するスキルの一つになりうると考えています。本講座では、最近、本校メカトロニクス科に導入された最新の簡単便利ツールである「からくり装置」、「人協働ロボット」、「簡単制御機器」などの使い方、また、自動化機器の安全設計について学び、これらを現場でどのように活用するかについて検討します。加えて、自動化・ロボット化の内製化に向けて、製品のようなきらびやかさはない現場での活用を想定した「ロボット単体からロボットシステム構築までの簡単な流れ」実践知を紹介します。		
他のコースとの関連性	この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「生産改善の DX」等に関する講義・実習の受講を一部免除する。		
履 修 項 目	①ものづくり技術の変化/ロボットや自動機の活用 ②自動化機器の安全設計 ③からくり装置の活用(アルミ構造材) ④簡単制御機器の活用(SiO など) ⑤協働ロボットの操作 ⑥産業用ロボットの三菱電機社製、力覚センサー搭載エプソン社製 ⑦産業用ロボット単体からシステム構築まで		(3時間) (3時間) (1時間) (2時間) (3時間) (3時間) (3時間)
使用装置ソフト・図書等	人協働ロボット(ファナック社製 CRX-10iA)、産業用ロボット(三菱電機社製ロボット搭載のバイナスの操作実習装置)、力覚センサー搭載の産業用ロボット(エプソン社製)、PLC 代替簡単制御機器(SiO)、からくり装置など		
必要な持ち物	筆記用具		
受 講 費 用	受講料：7,800円(18時間コース) 自己負担：なし		
留意事項等	6つの講座からなる「人の役割を変える DX 時代の現場カイゼン実践セミナー」は地域企業を中心に現場改善に取り組む、また産業用ロボット特別教育インストラクターの資格を持つ一人の教員が全て担当しています。全て受講いただくと生産改善に必要な内容を網羅することができますが、それぞれ独立していますので講座一つでも受講可能です。一つだけ受講される方、複数講座を受講される方、様々いらっしゃいます。		